



参考 和歌山城下町絵図（館蔵）
（「七マガリ」の部分：赤丸）

令和 4 年 7 月 7 日	
資料提供	
担当課（室）	県立博物館 学芸課
担当者	主任学芸員 坂本亮太
電話	073-436-8670（代表）
E-mail	admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp

和歌山の地名を“なぞ”解き！

企画展「地名のなぞ！？」の開催について

和歌山県立博物館では、令和4年（2022）7月16日（土）から同年8月21日（日）の会期で、夏休み子ども向け企画展「地名のなぞ！？」を開催します。この企画展では、絵図・地図や記録などを中心に和歌山県内の地名を取り上げ、その由来や移り変わりなどを紹介します。子ども向けの展示として、展示の解説文はわかりやすいものとし、夏休みの課題や自由研究にもできるように、展示室内では展示にかかわるワークシートなども配布します。大人と子どもとで楽しめる展示になっています。展示資料の点数は、全38件39点（うち重要文化財（（附）含む）3点、橋本市指定文化財1点）です。

夏休み子ども向け企画展「地名のなぞ！？」

【概要】

人や物に名前があるように、土地にも呼び名、すなわち地名があります。私たちが普段何気なく使っている地名。地名にはいったいどのような意味や歴史があるのでしょうか？地名は多くの場合、地域の歴史や地形などの特徴をもとに名づけられています。いつ頃からあるのか、どのような意味があるのかなど、地名を調べることによって、その地域の成り立ちや性格などがわかることもあるのです。

この企画展では、和歌山県内の地名の由来やその移り変わりについて、昔の絵図・地図や記録などをもとに紹介します。答えがはっきりしているものばかりではなく、地名の由来は多くが“なぞ”に包まれています。地名の“なぞ”について、あれこれと考え、一緒に“なぞ”解きをしてみましょう。

【会期】令和4年（2022）7月16日（土）～8月21日（日）

※休館日：月曜日、ただし7月18日（月・祝）は開館し、翌19日（火）は休館

【主催】和歌山県立博物館

【展示会場】和歌山県立博物館1階 企画展示室

※常設展「きのくにの歩み—人々の生活と文化—」と併催します。

【開館時間】午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【入館料】一般280円（230円）・大学生170円（140円） ※8月7日（日）は無料。

（ ）は20名以上の団体料金。高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内の学校に在学中の外国人留学生は無料。

【担当者】県立博物館 主任学芸員 坂本亮太

🔍 みどころ1 地名がたくさん載る絵図・地図をふんだんに展示！

この展示では、紀伊国全体を描いた絵図・地図5点、有田郡・伊都郡など郡を描いた絵図2点、和歌山城下町を描いた絵図5点など、地名がたくさん載る絵図・地図類を一堂に会して展示します。自分たちが住む地域とその周辺の地名を見つけることができるとともに、和歌山県内にどのような地名があるのかを知っていただけます。特徴的な地名については、その由来や移り変わりの歴史なども紹介します。例えば、和歌山城下町の「ブラクリ丁」「七マガリ」「駿河町」などの町名・地名が載っている絵図も展示で紹介します。



写真1 紀伊国図（館蔵）【展示番号 10】



写真2 和歌山之図（館蔵）【展示番号 22】
（ブラクリ丁が描かれる部分：赤丸）



写真3 和歌山城下町絵図（館蔵）【展示番号 21】
（駿河町・ト半町・寄合町などが描かれる部分）

🔍 みどころ2 会期中に「けんぱく・こどもゼミ」を開催

例年、年度末に開催していた「けんぱく・こどもゼミ」を、この企画展と関連させて夏休み期間中（8月3日（水）～8月7日（日）の5日間）に開催いたします。夏休み企画展とあわせて、和歌山城下町の地名を学芸員と一緒に調べる「自由研究コース」と、博物館の収蔵資料を学芸員とともに調査し、実際の文化財に触れる「学芸員コース」の二つのコースを準備しています。将来、歴史や美術などに関わる仕事に就きたい児童・生徒のための特別な講座をおこないます。詳しくは別添のチラシをご参照ください。

そのほか、この企画展にかかわって、小・中学校で夏休みの課題や自由研究などにもできるよう、ワークシートも準備しています。大人と子どもとで楽しめる展示となっていますので、ぜひ親子連れで博物館にお越しください。

※詳しくは別添チラシ・展示資料目録をご参照下さい。

展示資料目録はホームページ (<https://hakubutu.wakayama.jp>) 上でもご覧いただけます。

◆駐車料金（博物館利用の方は最初の2時間無料、以後30分ごとに100円追加）